

組合 NEWS

Faculty and Staff Union of Kanazawa University
金沢大学教職員組合執行委員会
金沢市角間町
Tel.076-262-6009(FAX同じ) / 角間内線2105
E-mail kanazawa@ku-union.org
ホームページ http://www.ku-union.org/

2022年11月22日

通巻1304号

この号の内容

- 学長との懇談の報告
- ハラスメント防止

和田学長に新執行部のご挨拶をしてきました。



報告 上田 長生 (執行委員)

10月28日、今年度の組合役員を代表して、和田隆志学長を表敬訪問し、併せて懇談を行ってきました。限られた時間ではありましたが、今後の組合と大学の協力関係について要望を伝えました。

まず、組合として良好な職場環境となるように要求をしていくので、大学としても誠実に対応していただきたいとお願いしました。要求が全て認められるとは考えていないものの、大学として受け入れられない場合でも丁寧な説明をしてほしいと申し入れました。最近、組合と事務レベルで情報共有や認識の共有確認を行うために、適宜話し合いの場を設けています。今後もこうした関係を維持してほしいとお願いしました。

組合側からの具体的な話題提供は4つでした。①廃止される方向の学生寮について、現在の大学の説明では学生が納得できていないため、引き続き学生との話し合いの場をもってより良い解決を目指してほしいと伝えました。②学生が自身の成績について、受講した全ての授業への授業評価アンケートに答えないと開示されなくなっていることについてです。これでは、任意のはずのアンケート回答が必須となり、十分考えずに回答する「無気力回答」が増加すること

は避けられないため、アンケートの本来の意味が失われ、授業改善の参考にならなくなってしまう問題を指摘しました。③本学の教育・研究を少なくない部分で支えている非常勤職員の待遇改善を速やかに検討してほしいとお願いしました。④留学生対応について組織・スタッフの増強の必要性を訴えました。

和田学長が、組合側からの要望をじっくりと聞きながら、頷かれている姿が印象的でした。学長からは、たくさん問題提起をしてもらったので、検討していきたいとの回答がありました。今回の訪問を通じて、学長が、思いつきなどではなく、熟慮の上で大学の方向性を判断しようとしていることが窺われました。

国立大学法人を取り巻く内外の環境が厳しさを増す中、新たに打ち出されてくる大学の方針について、組合としても批判すべき点は批判し、より良い提案を積極的に行っていくことで、諸課題の解決、働きやすい職場環境づくりを目指していきたいと思えます。そのためには、皆さまの「声」が欠かせません。疑問・要望を組合にお寄せください。ぜひご加入してください。

みんなで

NO ハラスメント



2022年12月7日(水)
ハラスメント対策シンポジウムをリモートで開催

シンポジウムの概要及び参加の申し込みは、
二次元バーコードまたは下記サイトフォームからお申し込みください
<https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/symposium>



パワハラ防止措置が全企業で義務化されました。

パワハラやセクハラ防止対策や相談窓口の設置など、社内での体制作りを行い、明るい職場環境づくりに取り組みましょう。



あかるい職場応援団

ハラスメントでお困りの方は、無料で相談できる全国の労働局・労働基準監督署にある総合労働相談コーナーをご利用ください。詳しくは、ポータルサイト「あかるい職場応援団」まで。NOハラスメント

<https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/>

NOハラスメント



これはハラスメントです



必要以上に長時間にわたる厳しい叱責を行う。
他の労働者の前で、大声で威圧的な叱責を行う。

言葉の暴力で相手がうつ病を発症したり体調を崩せば傷害罪
(刑法204条)
多数の人の前で侮辱すれば侮辱罪
(刑法231条)が適用される可能性があります。